



岐阜県退職公務員連盟

可児支部広報

令和6年度 第2号 7月17日



支部総会に30名の参加 大盛会に!!

令和6年7月6日(土)午前10時半より、可児市広見の鈴川にて、岐阜県退職公務員連盟可児支部総会を開催いたしました。昨年より7名多い30名の参加があり、盛り上がりしました。

来賓及び講師として、岐阜県退職公務員連盟会長の丹羽英之様のご臨席を賜り、下記の次第に従い、無事に終了することができました。皆様方のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

- ①開会の言葉 ②物故者追善黙祷 ③「われらの信条」唱和 ④支部長挨拶
- ⑤壽詞贈呈 ⑥長寿お祝い品贈呈 ⑦議長選出
- ⑧議事 ・令和5年度事業報告、会計報告、監査報告
・令和6年度基本方針と取組の重点、事業計画、会計予算
- ⑨新人会員の紹介 ⑩来賓祝辞及び講話 ⑪閉会の言葉



▲岐阜県退職公務員連盟可児支部総会

令和6年度 執行部		
役員	氏名	分会
支部長	長谷川 秀次	今 渡
副支部長	高木 俊朗	伏 見
組織部長	伊藤 尚	姫 路
監 事	亀井喜久男	土田春里
庶 務	松田 光司	土田春里
会 計	山田 敏勝	姫 路



▲岐阜県退職公務員連盟会長(来賓)

令和6年度 基本方針

- ①組織・会務・事業の見直しと改善に努め、組織の拡充強化を図る。
- ②誰もが安心して暮らせる社会保障制度が構築されるよう努める。
- ③会員の生きがいづくりや支え合い活動を推進し、会員の福祉を増進する。

令和6年度 取組の重点

- ①組織の拡充強化と会員数の確保を目指す。組織挙げての勧誘体制を構築する。
- ②会員の福祉の増進を図る。長寿、慶弔、表彰等の細かな対応をする。
- ③きめ細かな広報・情報発信に努める。「私の社会貢献」等の支部広報を発行する。
- ④年金・医療・介護の社会保障制度の研修会を開催し、要望に繋げる。

岐阜県退職公務員連盟会長の丹羽英之様より

- ①可児支部総会が大盛会に！ 退公連の取組にご尽力いただき、敬意と感謝を申し上げます。可児支部総会は大盛会である。壽詞贈呈・長寿お祝い品贈呈の皆様、おめでとうございます。能登半島地震の現状は、復旧復興にまだまだ長い時間がかかるようだ。被災会員に対する義援金募金のご協力に感謝する。
- ②年金について 令和6年は年金見直しの年である。柱は4点。①マクロ経済スライド制…基礎年金は2047年まで、厚生年金は2025年まで実施。スライド率の見直しや延長があるか。②厚生年金の加入…現在は70歳迄、それを75歳に延長か。③年金受給開始年齢の延長…現在は65歳、それを70歳に延長か。④被用者保険の更なる適用拡大 等々
- ③7月3日公表の年金財政検証を読み解く

支部総会の様子



※支部総会終了後、懇親会を開催いたしました。丹羽会長にもご参加戴きました。久しぶりに酒を酌み交わし、近況報告等ゆっくりとお話できました。話すことがいっぱい、本当に楽しい一時でした。皆さん、笑顔いっぱいでした。総会及び懇親会へのご参加・ご協力、誠にありがとうございました。

今後の年金「国民年金保険料納付の5年延長」は断念？

2024年度財政検証のポイントを解説

7/16 YAHOO!ニュースより

2024年7月3日、厚生労働省より年金制度の財政検証の結果が発表されました。財政検証は、年金財政の健全性を確認し制度の見直しに役立てるために5年に一度実施されます。

2024年度の財政検証の結果

財政検証とは、何パターンかの前提条件をもとに年金財政の見通しを作成し健全性を検証することです。財政の健全性は所得代替率（※）50%を最低ラインとして判定し、次の財政検証までに所得代替率が50%を下回ると見込まれる場合、必要な措置を講じることになります。

※現役男子の平均手取り収入額に対する夫婦2人の年金額の比率。
財政検証で判明した現状と将来の見通しについて解説します。

●2024年度の現状

2024年度の所得代替率は、次の通り2019年度（前回の財政検証実施年度）より0.5%低下して61.2%となりました。モデル世帯について、夫婦2人の年金収入が現役世帯の61.2%であったということです。

- ・所得代替率=（夫婦2人の基礎年金+夫の厚生年金）/現役男子の平均手取り収入額
- ・2019年度の所得代替率=（13万円+9万円）/35万7000円=61.7%
- ・2024年度の所得代替率=（13万4000円+9万2000円）/37万円=61.2%

2019年の財政検証では所定の前提条件のもと、2024年度の所得代替率は60.0%台まで低下すると推計されていましたが、実際には所得代替率が推計を上回る結果となりました。

●公的年金の今後の見通し

財政検証の見通しは、出生率や死亡率、就業率、生産性、物価・賃金上昇率などについて何パターンかの前提条件を設定して所得代替率を予想します。

給付水準の調整終了年度（※）と最終的な所得代替率の見通しは次の通りです。

※マクロ経済スライドによる給付水準調整が終了する年度。

年金の給付水準を所定のルールに基づいて減額し、年金財政の給付と負担のバランスが均衡すると調整は終了します。

【前提条件:2029年度の所得代替率・調整終了時の所得代替率・実質経済成長率】

- ・パターン1（高成長実現コース）:60.3%・56.9%（2039年）・1.6%
- ・パターン2（成長型経済移行・継続コース）:60.3%・57.6%（2037年）・1.1%
- ・パターン3（過去30年投影コース）:60.1%・50.4%（2057年）・▲0.1%
- ・パターン4（1人当たりゼロ成長コース）:59.4%・50.1%（2059年）・▲0.7%

一定の経済成長（パターン1,2）ができれば所得代替率の低下は5%くらいで収まりますが、経済成長率が低迷（パターン3）すると50.4%まで低下します。

パターン3の「過去30年投影コース」は、今後の経済成長率などが過去30年と同様であるという前提での試算です。

1人当たりの実質経済成長率がほとんど上がらないケース（パターン4）では、2059年度に国民年金の積立金がなくなり、それ以降の所得代替率は37%～33%程度になる可能性もあります。

財政検証の現状と今後の見通しについて解説してきましたが、年金制度は今後どのような見直しが行われるのでしょうか。

財政検証のオプション試算より、今後の制度改正を考えていきましょう。

年金制度改正の可能性のあるオプション試算の内容

2024年度の財政検証では、次の5つの制度改正を行った場合の所得代替率をシミュレーションしています。

- ・被用者保険の更なる適用拡大
- ・基礎年金の拠出期間延長・給付増額

- ・マクロ経済スライドの調整期間の一致
- ・在職老齢年金制度
- ・標準報酬月額の上限

それぞれについて解説します。

●被用者保険の更なる適用拡大

被用者保険とは、厚生年金保険や健康保険のことです。

現在、短時間労働者の社会保険加入が適用されているのは従業員数101人以上の事業所ですが、2024年10月からは従業員数51人以上の事業所に拡大します。

「更なる適用拡大」とは、2024年度10月の改正よりも更に社会保険加入要件を緩和しより多くの人々が社会保険に加入できるようにすることです。

保険料を負担する加入者が増えることによって、所得代替率もアップします。

●基礎年金の拠出期間延長・給付増額

基礎年金の拠出期間延長とは、国民年金の加入期間を延長することです。

現在は20歳から60歳までの40年間ですが、65歳まで延長することによって加入期間は45年になります。

加入期間が長くなることで年金額がアップし、所得代替率も次の通りアップします。

- ・成長型経済移行・継続コース:57.6%→64.7%
- ・過去30年投影コース:50.4%→57.3%

ただし、保険料負担が100万円程度増えるため、厚生労働省は来年の制度改正では国民年金保険料の納付期間の5年延長を見送る方針です。

●マクロ経済スライドの調整期間の一致

マクロ経済スライドによる給付水準調整の終了時期は、基礎年金と厚生年金とは異なります。

基礎年金は加入者が減少しているのに対し、厚生年金加入者は増えているからです。

両者を一致させた場合、所得代替率は次の通りアップします。

- ・成長型経済移行・継続コース:57.6%→61.2%
- ・過去30年投影コース:50.4%→56.2%

●在職老齢年金制度

在職老齢年金制度とは、働きながら年金を受け取る場合、年金額や給与所得の多い人の老齢厚生年金の一部または全部が支給停止される仕組みのことです。

この制度によって、年金の支給は抑えられています。

制度が廃止されると働きながら年金を受け取る人の年金額はアップしますが、所得代替率は低下(▲0.5%)します。

●標準報酬月額の上限

厚生年金の保険料や年金額の計算基礎となる標準報酬月額には、65万円の上限が設けられています。

上限の金額がアップすると、収入が高い会社員の保険料がアップする一方、年金額は上昇し所得代替率もアップします。

まとめにかえて

2024年度の財政検証によると、現在61.2%の所得代替率は「過去30年投影コース」では50.4%まで低下するものの、最低ラインの50%は維持される見込みです。ただし、前提条件が変われば年金額は大きく変動するため、老後に備えた自助努力が必要です。

5年毎に行われる財政検証を継続的に確認して年金財政の状況をチェックするとともに、老後計画を適宜見直しましょう。

参考資料 ・厚生労働省「将来の公的年金の財政見通し(財政検証)」

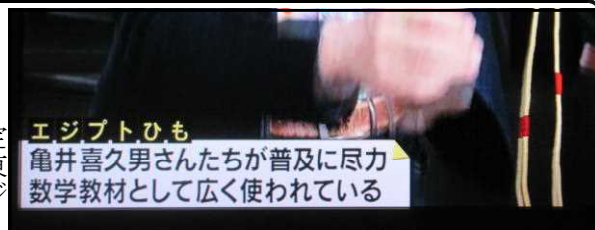
「エジプトひも」で 子どもたちを数学大好きに！

可児支部役員(監事)の亀井喜久男さんは、小学校や高校に勤務し、現在は愛知県立大学の非常勤講師で数学の先生です。子どもたちを数学大好きにしようと、長年「エジプトひも」の実践に取り組んでみえます。その実践が、NHKやCTKで紹介されました。

NHKにて

7月10日(水)午後9時半、NHKEテレ

「3カ月でマスターする数学 第3回『三平方の定理』ステキな三角形」の番組の最後に、秋山仁東京理科大学栄誉教授から、亀井喜久男さんの「エジプトひも」の実践を紹介されました。

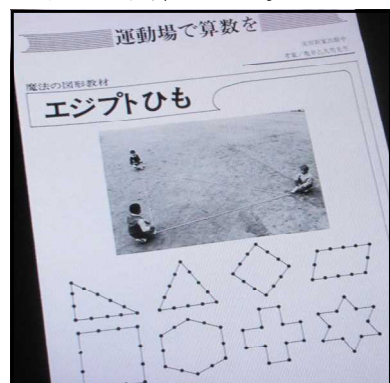
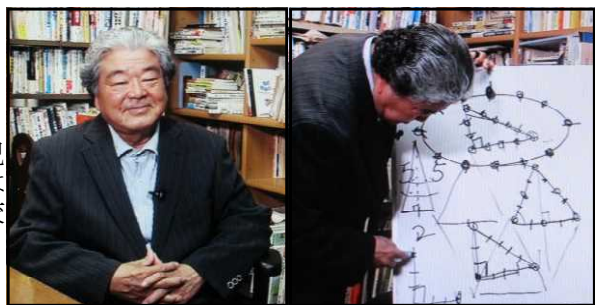


CTK ケーブルテレビ可児にて

7月10日17:15~17日(水)12:30

CTKタイムズ かにみた！

「かにみた！」の中の「アルバムの記憶」で可児市土田の亀井喜久男さんが特集されました。中心は「エジプトひも」です。帷子小学校や上麻生小学校での実践、高校での論文発表等が紹介されました。感動的な特集でした。



「エジプトひも」は、印をつけて12等分された輪になったひもで、亀井喜久男さんが、古代エジプト人が縄を使って直角をつくったと伝えられている話をもとに、古代の数学と現代を結ぶ教材として考案され、命名されたものです。発表されたエジプトひもに関する論文の中では、このひもを使ったいろいろな図形(直角三角形はもとより、正方形、長方形、正六角形等)の作図方法も紹介されています。詳しくは、亀井喜久男さんのホームページをご覧ください。

<http://www.ctlc.ne.jp/~kamei-ki/index.htm>

エジプトひもを使い、実際に書いてみた。最初に、直角三角形を書いた。「あーほんとに、直角がでましたすごいな」といった。ひも一本、平凡な一本なのに、いろいろなことが、このひもにかくされているのだ。できるたびに、喜んで、まっほうの上にすわり見たりした。ほかたちは、ひもを握ったから、はわい大きさがたいたい、身についた。正三角形から、六角形を作ったり、ほんとに、た円形を見て、すごいなと思った。

みんなと協力して、作った満足感、いつ作り上げていくことの喜び。今まで、けいけんしなかったことを、味わった。すごいことだ。すごい神ひもだ。すごいことだ。なという数学が、すきになったし、エジプトひももすきになった。

(運動場で、実習の感想)